

横浜市 平成28年度予算案について

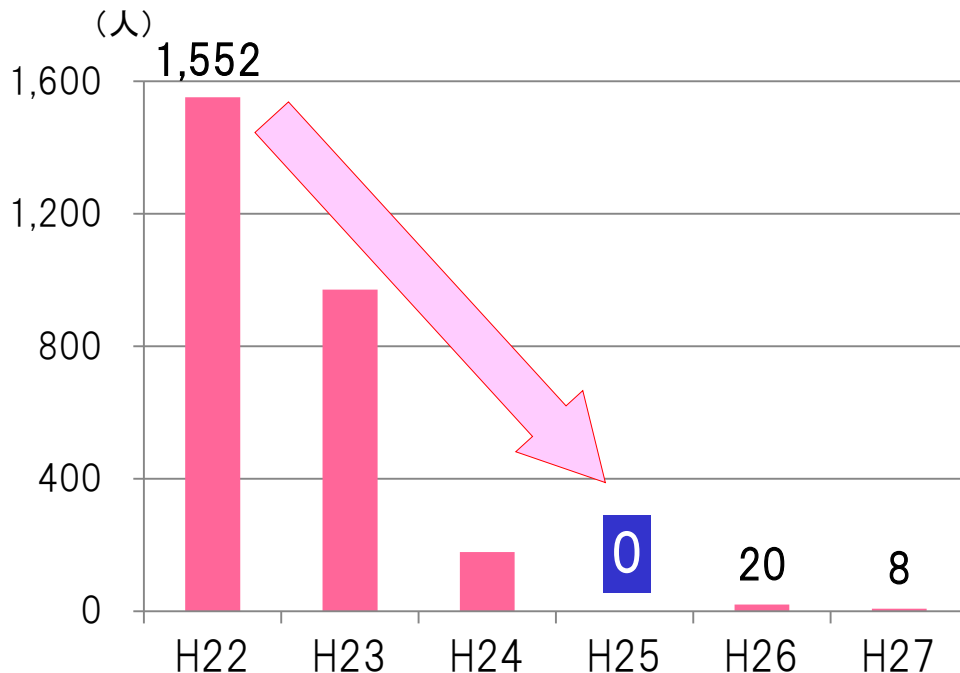
～横浜の未来の鍵を握る年～

平成28年2月1日

横浜発の課題解決で国を牽引

待機児童ゼロへの挑戦

- 横浜方式の取組
- **全国ワーストだった待機児童のゼロを達成**



教育

- 児童支援専任教諭配置等の効果
 - **いじめの認知件数が増加**
21年度511件 → 26年度1,781件
 - **いじめの年度内改善率が向上**
21年度88.9% → 26年度**99.8%**
- 学校司書の配置
 - **読書量（貸出冊数）が増加**
24年度（配置前）に比べ、
26年度（配置2年目）は**2.1倍**



横浜発の課題解決で国を牽引

女性の活躍支援

■ 女性ネットワーク会議



■ 女性起業家支援



■ ウーマンビジネスフェスタ



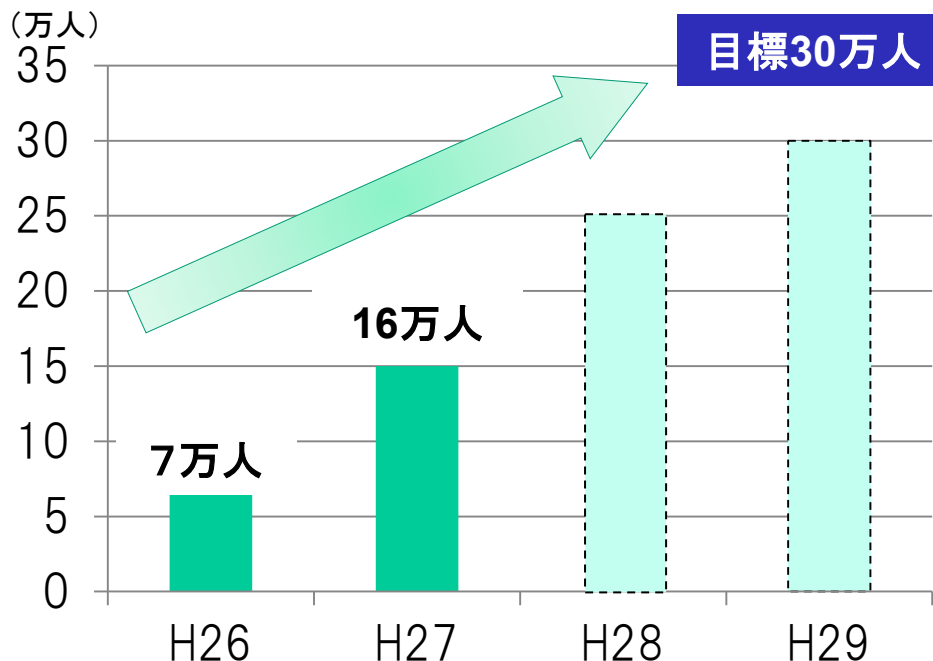
■ 横浜の取組を海外に発信



横浜発の課題解決で国を牽引

健康づくり

- よこはまウォーキングポイント事業
 - 27年12月末時点で**15.6万人**が参加
 - アンケートに回答した方の**約9割**：
「より歩くきっかけに」なった



ジョブスポットでの就労支援

- ハローワークと連携した就労支援窓口を27年度中に**全区に設置**
- 就労者数・就労率

26年度	: 1,366人	56.5%
(27年度上半期)	: 1,070人	60.7%

 就労率は**ハローワークの2倍以上!**



世界から選ばれる 世界に貢献する横浜

世界的企業が横浜に進出

アップル社



Y-PORT事業

- 4都市と連携協定締結
セブ（フィリピン） ダナン（ベトナム）
バンコク（タイ） バタム（インドネシア）
- Y-PORTセンター発足

地球温暖化対策

- 横浜の地球温暖化対策の先進性を発信

ユーグレナ社



出典:時事通信



さらなる成長を支える都市の骨格づくり

国際ビジネス拠点の形成

- 横浜駅西口駅前ビルの着工



都市基盤整備

- 横浜環状道路の整備



国際コンテナ戦略港湾

- 南本牧MC-3コンテナターミナル供用



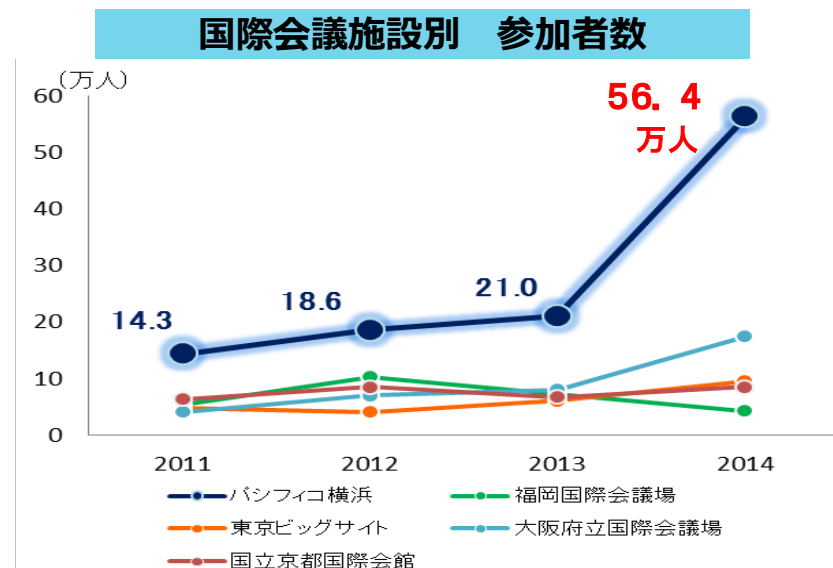
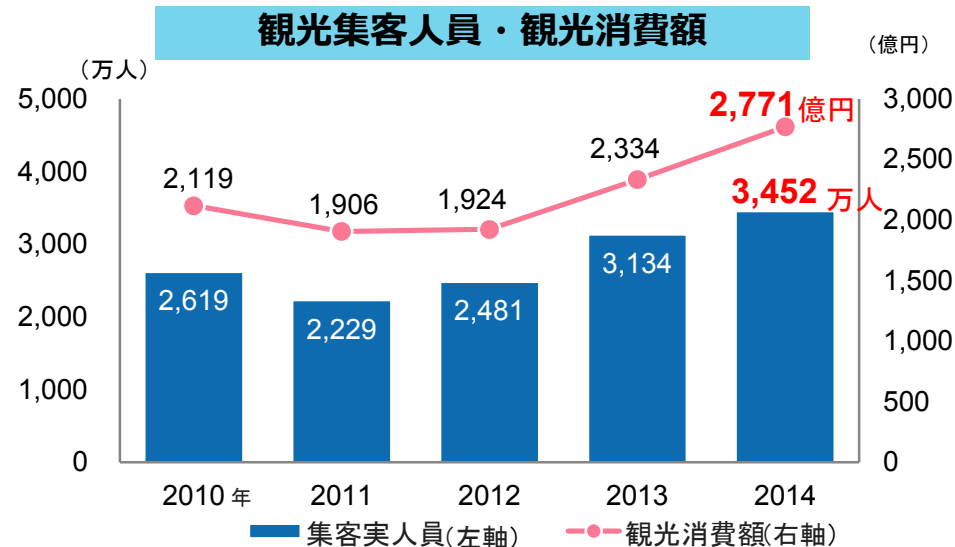
防災・減災対策

- がけ地対策



世界中の人を惹きつける、賑わい溢れる都市

- 観光集客実人員・観光消費額ともに **過去最高** (2014年)
- 市内主要ホテルの稼働率は **年平均86.5%** (2014年)
- パシフィコ横浜の国際会議参加者数 **13年連続日本一** (2014年)
- Dance Dance Dance @YOKOHAMA 2015 の **来場者数 約100万人** (主・共催事業)



平成28年度予算案のポイント

横浜の未来の鍵を握る年 ～中期4か年計画の目標達成、さらにその先を見据えて～

人の力の発揮支援

- ・ 第4次男女共同参画行動計画の推進
- ・ 学校教育環境の整備
- ・ 子どもの貧困対策
- ・ 地域包括ケアシステムの構築



経済の活性化

- ・ 企業誘致の強化
- ・ ライフイノベーションなど
成長・発展分野の強化
- ・ 中小企業、商店街の振興



賑わいづくり・まちづくり

- ・ 横浜環状道路の整備
- ・ 山下ふ頭再開発の推進
- ・ 客船ターミナルの整備
- ・ 横浜音祭り2016（仮称）、
全国都市緑化よこはまフェア



子育て支援・子ども・若者の育成

《子どもを産み育てやすい社会》

◎ 子ども・子育て支援、教育環境の整備

◆ 保育所待機児童ゼロの取組の継続

(2,543人分の受入枠を拡大)

◆ 放課後の居場所の充実

(放課後キッズクラブの設置 計203校 H31に全校)

◆ 学校司書の全校配置がH28完了

◆ 横浜型配達弁当「ハマ弁」を全中学校で実施

◆ 学校の防火防煙シャッターの改修

◎ 子どもの貧困対策の推進

◆ 学習支援・生活支援

(子どもの将来の自立に向けた基盤づくりのため、
小中学生の学力向上・生活習慣の習得を支援)

◆ ひとり親家庭の支援

(児童扶養手当制度の拡充、教育訓練・職業訓練給付金)



女性・シニアの活躍支援

《日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市》

◎ 「第4次男女共同参画行動計画」の推進

◆ 企業・経済団体等とのネットワークづくり
(関係団体の協議会を設置し、女性活躍推進の基盤を整備)

◆ 女性としごと 応援デスク
(女性の再就職等に関する総合相談窓口を拡充：1→3か所)

◆ 女性起業家の支援
(大型商業施設と連携した女性起業家プロモーション)

◆ 中小企業における女性活躍推進
(テレワーク導入支援)



《いつまでも元気に活躍できる社会》

◆ シニアの地域貢献モデル事業（金沢区）
(「生きがい就労支援スポット」のモデル運営)

◆ よこはまシニアボランティアポイント事業

370万人の健康づくり

《健康寿命日本一を目指す》

- ◎ よこはまウォーキングポイント
(H27 : 16万人 → H28 : 25万人)



《いつまでも住み慣れた地域で暮らす》

- ◎ 地域包括ケアシステムの構築
 - ◆ 在宅医療連携拠点の全区展開
 - ◆ 生活支援コーディネーターの全区配置(157人)

中期計画目標を
前倒しで達成

- ◎ 2025年に向けた医療機能の確保
(地域医療構想の策定、
医療ビッグデータのオープンデータ化検討)

- ◎ 重症心身障害児施設の開所(H28.6月 港南区)

- ◎ 障害者スポーツ・文化活動拠点基本計画の策定
(福祉保健研修交流センター「ウィリング横浜」の活用)



成長分野・産業拠点の強化、中小企業の振興

《活力あふれる横浜経済の実現》

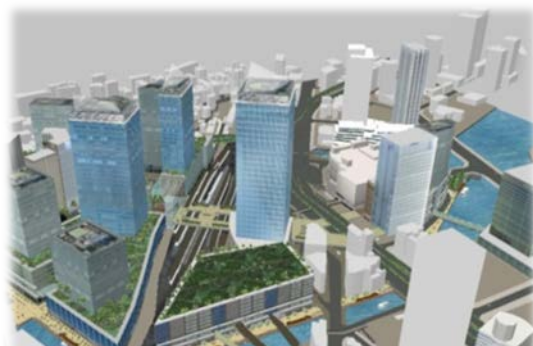
- ◆ 特区を活用した「横浜臨床研究ネットワーク」
運営支援（7,872床のネットワーク）
- ◆ 「横浜ライフイノベーションプラットフォーム（仮称）」
の構築（産学官金の連携による新たな原動力）
- ◆ 外資系企業の誘致強化
（外資系向け相談機能とプロモーションの充実）
- ◆ 中小企業の振興やインバウンド対応などによる
商店街の活性化支援
- ◆ ものづくりのデジタル・ネットワーク化
に向けた取組推進（中小企業のIoT活用支援）



都心臨海部の再生・機能強化

《世界中の人や企業を惹きつけるまち》

- ◆ 山下ふ頭再開発の推進（H32一部供用）
- ◆ 横浜駅周辺での国際ビジネス拠点の形成



横浜駅周辺の将来イメージ



国家戦略住宅整備事業
（鶴屋地区）

- ◆ 新市庁舎の整備（H32供用）
- ◆ 関内・関外地区の活性化推進
現市庁舎街区を「知と創造の拠点」へ
- ◆ 横浜文化体育館の再整備



新市庁舎整備イメージ

郊外部の再生・活性化

《住みたい、住み続けたいと思えるまち》

◆米軍施設跡地利用の推進

深谷（77ha）：跡地利用基本計画の具体化

上瀬谷（242ha）：跡地利用基本計画の検討



旧深谷通信所



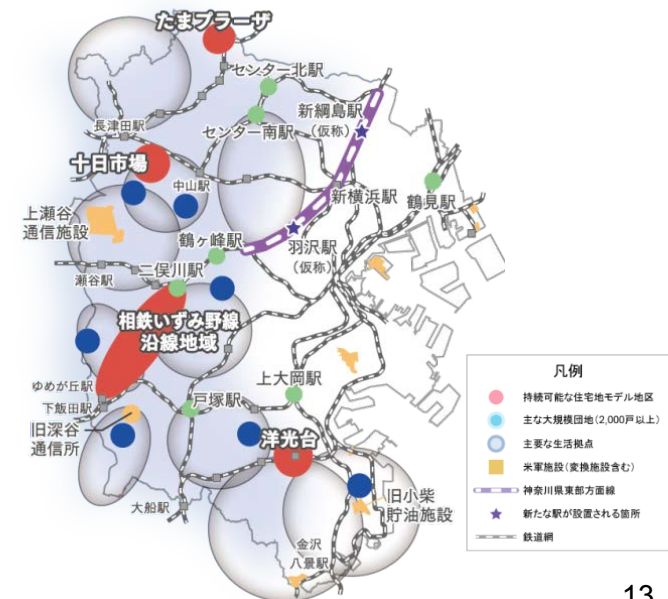
旧上瀬谷通信施設

◆持続可能な住宅地モデルプロジェクト

地域や企業と連携したまちづくりを推進

H29に全区展開

大規模な土地の特徴を
最大限に活かす新たなまちづくり



観光・MICE・文化芸術創造都市 緑の保全・創出

◆20街区MICE施設の整備（2020年開業）

◆横浜音祭り2016(仮称)

コア期間: 9/22~11/27 67日間
会場: 横浜市全域

オリンピック・パラリンピックの
文化プログラムを牽引



(c)2015 TAKENAKA CORPORATION,
AXS SATOW INC.

◆第33回全国都市緑化よこはまフェア(2017年3~6月)

「みなとガーデン」、「里山ガーデン」の2会場と
18区をつなぎ、市内に“ガーデンネックレス”を創出



(c)藤本史昭 ※横浜音祭り2013の様子



提供: ADB

◆第50回アジア開発銀行年次総会(2017年5月) の開催準備

次回開催都市として、2016年総会
(ドイツ・フランクフルト) でPR活動

スポーツ

◆ラグビーワールドカップ2019の開催準備

- ・プロモーションの推進
- ・ラグビー競技の振興



©JR2019, Photo by H.Nagaoka

◆2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた取組

- ・大会開催に向けた調整・機運の醸成
- ・多文化・多言語対応
- ・Wi-Fi環境整備
- ・小中学生とオリンピック・
パラリンピアン等との交流

英国代表チームのキャンプ地・
英国の「ホストタウン」に決定



災害に強いまちづくり

《災害に強い「人」「地域」「まち》

◆まちの不燃化等地震火災対策の推進

建築物不燃化推進事業補助（311件）

狭あい道路拡幅整備（8.6 km）

◆がけ地対策・水害対策の推進

がけ地現地調査（約4,100件）

◆横浜市民防災センターの リニューアルオープン（H28.4月）

「災害シアター」、「地震シミュレーター」、
「減災トレーニングルーム」など、実践的に
自助・共助を学べる施設へ



都市インフラの強化

《経済・市民生活を支える強靱な骨格づくり》

- ◆ 横浜環状北線（H28年度開通）・
北西線等の整備
- ◆ 先進的な港湾施設の整備
南本牧ふ頭連絡臨港道路（H28年度供用）
南本牧ふ頭高規格コンテナターミナル
- ◆ 外国客船の誘致・受入機能強化
新港9号客船ターミナル整備
大黒ふ頭での超大型客船の受入機能強化
- ◆ 相鉄（星川～天王町）連続立体交差事業
H28年度下り線高架化、H30年度完成
- ◆ 神奈川東部方面線（相鉄・JR直通線、
相鉄・東急直通線）の整備



28年度予算規模

一般会計の伸び率は、+1.3%で、プラス予算

会計名称	28年度	27年度	増▲減	増減率
一般会計	1兆5,143億円	1兆4,955億円	189億円	1.3%
特別会計	1兆3,416億円	1兆3,947億円	▲532億円	▲3.8%
公営企業会計	5,409億円	5,918億円	▲509億円	▲8.6%
総計	3兆3,968億円	3兆4,820億円	▲852億円	▲2.4%

一般会計の主な増理由

- 扶助費の伸び率: +3.6%
- 繰出金の伸び率: +3.0%

市税収入の見込み額は、7,159億円（0.9%）

- 個人市民税で「給与所得の増」
- 法人市民税で「企業収益の改善」

徹底した事務事業の見直し

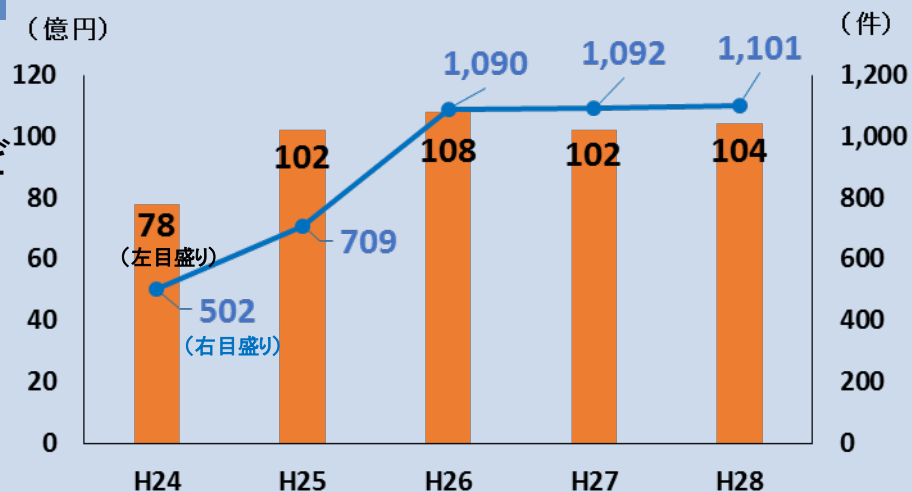
- 市役所内部経費の削減や時代の変化を踏まえた事業手法等の見直し
- 外郭団体に対する財政支援等の見直し

28年度 事業見直し 1,101件、効果額 104億円
(27年度 1,092件、102億円)

主な見直し内容

- 市役所内部経費の見直し
 - 消耗品費や印刷製本費などの事務費の精査など
- 民営化・委託化の取組
- 時代の変化を踏まえた事業手法等の見直し
 - 外郭団体に対する補助金・委託料の見直しなど

事業見直し件数・効果額の推移



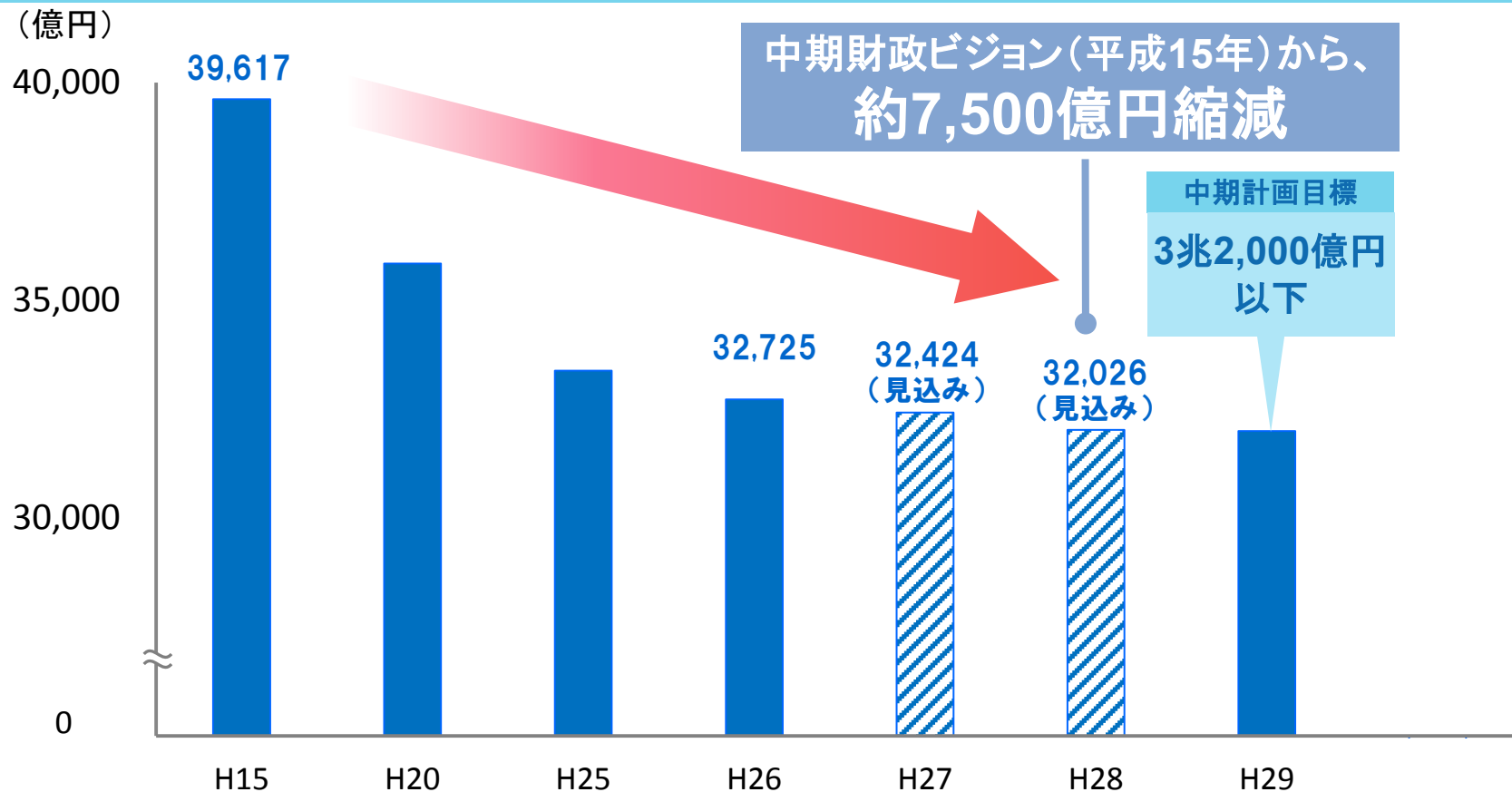
財政運営 ～「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立

「一般会計が対応する借入金残高の縮減」と「計画的な市債活用」

◇28年度：一般会計が対応する借入金残高は、**398億円縮減**

◇市債は中期計画の枠組み（4か年6千億円の範囲）に沿って、計画的に**1,479億円活用**

一般会計が対応する借入金残高の推移



横浜ならではの魅力をさらに磨き上げてまいります



(c)Masanori Naruse

横浜市トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>

定例記者会見トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/mayor/interview/>

財政局財政課トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/>